

優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル

庭の樹々が美しく映えるライトイエローに彩られた空間

タイプ

持家一戸建

構造

ツーバイフォー

講評

2×4工法の既存壁を一部撤去し増築することを構造的に解決して、LDKを拡張。庭との関係が重視されている。平面・断面形状が工夫され、ユニークな空間が生まれた。建物もアプローチもさりげなく増設された。



①前面道路交差点からの外観。庭の植栽が生い茂っている様子が道路からも分かる。二世帯住宅としてつくられているがエントランスの門は一つ。
②キッチン側からリビングダイニング方向を見る。窓はあるが、十分に庭を眺めることが出来ない。
③リビングダイニング側からキッチン側を見る。キッチン側に窓がないため薄暗くなっている。
④寝室。寝室が余っているため、物置のようになっている。



A. 外観 擁壁を切崩して作られた門扉は、擁壁と同化されたデザインとしている。
B. アプローチ階段 夏ミカンの樹が覆い被さっている。
C. エントランスポーチ 増築部壁の角度を振ることで、エントランスポーチから庭を一望出来ないように視界をコントロールしている。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

<リフォームの動機> (二世帯住宅の片方世帯の増築改装計画)
「生活時間帯が異なる二世帯の玄関を完全分離したい。」「手狭なLDKを広くしたい。」「LDと一体感のあるキッチン。」「庭を楽しめる家。」

<設計・施工の工夫点>
壁位置変更が難しく増築改装に不向きな2×4工法、既存不適格である既存部と増築部の構造的分離、という難点がありました。要望とは無関係なそれらを表面化させず、増築部と既存部が一体的な空間とすることが課題となりました。計画部と既にそこに存在する植物や既存建物との関係が、新旧の衝突や対比ではなく、既存部と増築部が同化しているようだが、注意深く見ると気付く、「忍び込んだカメレオン」のような存在になれればと考えました。

<施主の感想・満足度>
日々、夏ミカンの樹の枝の下をくぐることで庭の樹々が生活に近く感じられる。光の状態によって、ライトイエローの天井・壁は色味が変わり、太陽の動きや季節を一層感じるようになりました。パノラマ窓は圧巻。

<住宅の価値を向上させた内容>
増築部が加わることで、漠然としていた庭の印象が一新されました。

性能向上の特性
耐震性能／バリアフリー性能／防犯性能／室内空気環境

特に配慮した事項
耐震性(耐震壁補強、既存部と増築部の構造分離)／バリアフリー性(室内段差の解消)／防犯性(防犯ガラス導入)／室内空気環境(新規に24時間換気の導入)

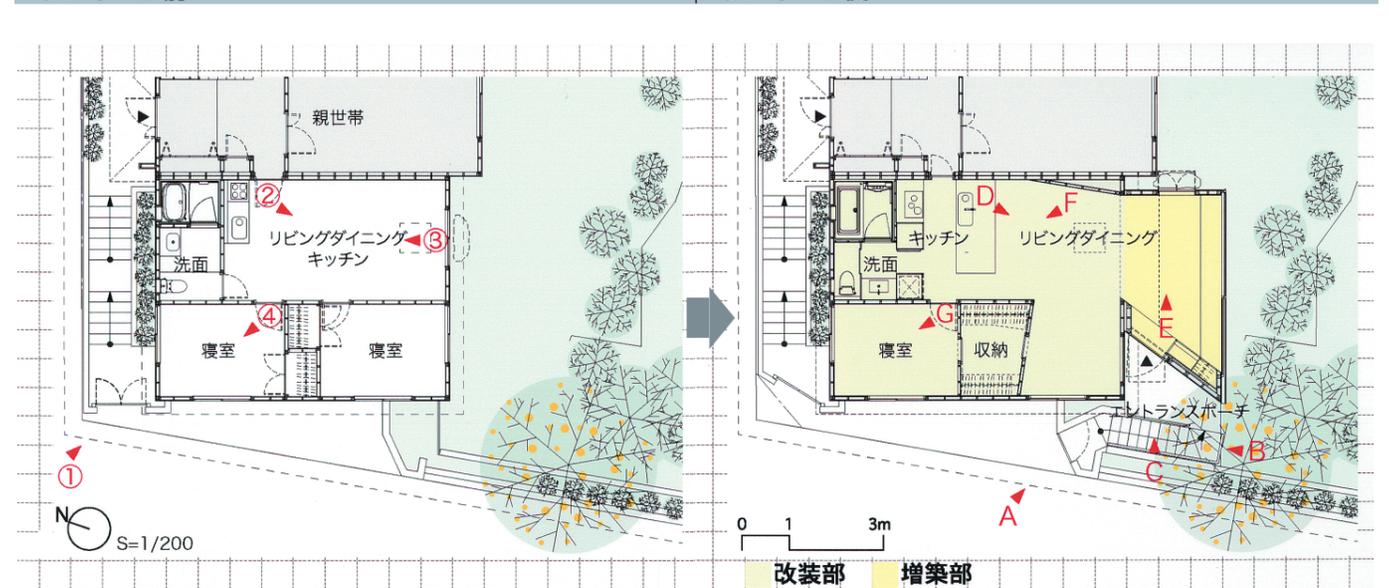
所在地	東京都世田谷区	築後年数	18年	施工期間	90 日間
該当工事面積	65.31 m ² / 総工事床面積 65.31 m ²	該当部分工事費	1,200 万円 / 総工事費 1,200 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人 / 65歳以上: 人 / 15歳未満: 人 / ペット: 猫1匹				
設計会社	小谷研一建築設計事務所	担当者	小谷 研一		
施工会社	(有) 月造	担当者	北原 隆志		



D.LDK 二股に分岐したLDKはひとつつながりだけれども、それぞれの場所に心地よい居場所が生まれている。それと分りにくいエキスパンションジョイントとすることで、増築部と既存部が自然に連続した空間が表現された。



E.LDK エントランスを入ると横長の窓を通して、庭が一望出来る。
F.LDK 収納力抜群の広々としたキッチンカウンター。カウンターからLDK全体を見渡すことが出来る。
G. 寝室 撮影: 鳥村鋼一 小谷研一



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共有部